



# 匿名相談アプリ「STANDBY（スタンバイ）」 の取り組み状況と今後の展開について

スタンバイ株式会社 代表取締役 谷山大三郎



# 自己紹介



## スタンバイ株式会社 代表取締役 谷山 大三郎

1982年12月生まれ。富山県出身

千葉大学教育学部卒業、千葉大学大学院教育学研究科修了後、  
2008年より株式会社リクルートに勤務（営業、事業推進、人事）、2015年退職

現在、スタンバイ株式会社代表取締役、千葉大学教育学部附属教員養成開発センター特別研究員等務める

### メディア掲載



NHK NEWS WEB

AERA

読賣新聞  
THE YOMIURI SHIMBUN

### 取り組みに参画



2015年10月9日設立

103-0004  
東京都中央区東日本橋2-1-15  
STR東日本橋 4F

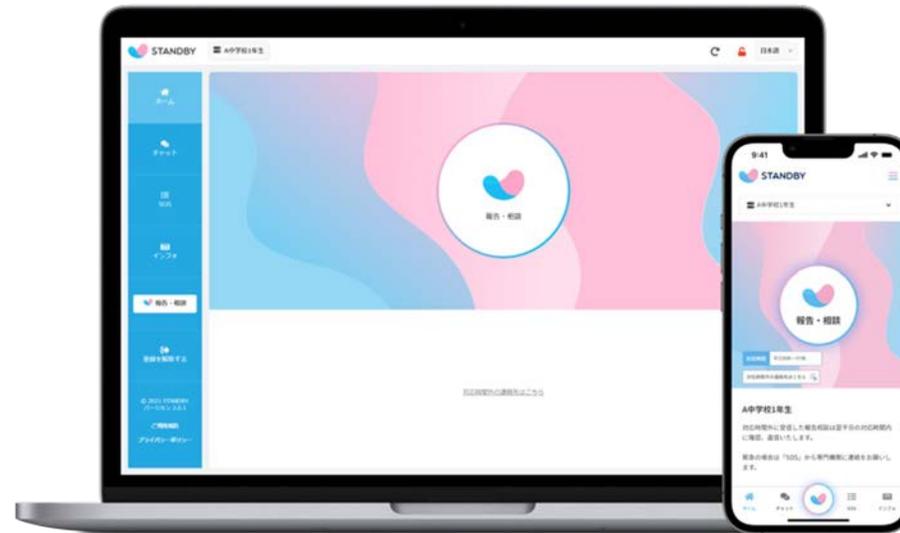
Mail : [info@standby-corp.jp](mailto:info@standby-corp.jp)  
HP : [www.standby-corp.jp](http://www.standby-corp.jp)





# 匿名報告アプリ「STANDBY」を開発 学校で配布される一人一台端末・個人のスマホ等利用可能

## STANDBY





**私自身がいじめ被害者だった  
何も言えなかった私を、先生が助けてくれたから今がある**





# いじめ被害経験は生涯にわたって悪影響を及ぼす

7歳と11歳の時にいじめにあっていたと親によって報告された者たちは、45歳の時点で、**自殺傾向を有していたり、うつ病、不安障害、アルコール依存の診断をもつ**傾向が高い。

より頻繁にいじめ被害にあっていた者は、そうでない者に比べ、オッズ比で **1.95倍抑うつ病になる** リスクが高く、また**不安障害が1.65倍、自殺傾向が 2.21 倍**高くなることが明らかにされている。

*(Takizawa R, Maughan B & Arseneault L, 2014)*



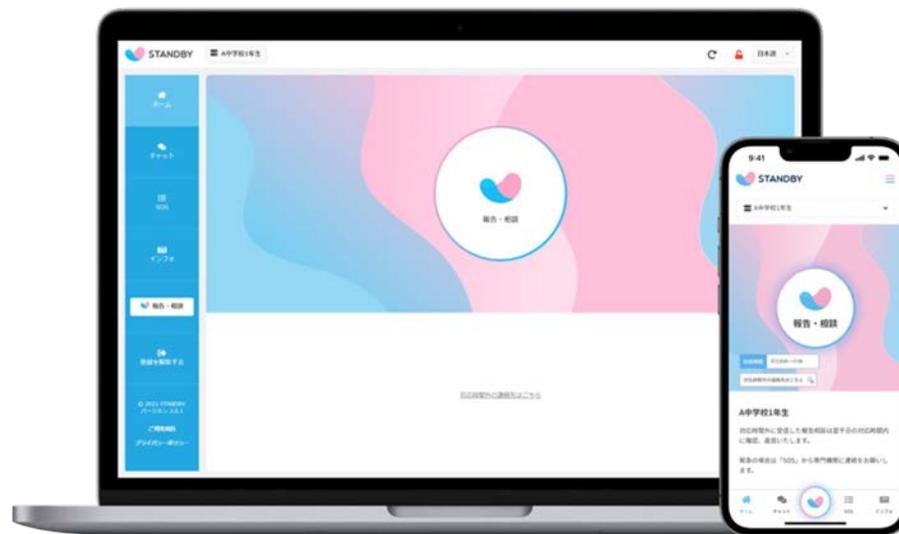


**苦しいとき声をあげてもいい**  
**安心して相談できる**  
**そんなあたりまえをつくろう**



# 匿名報告アプリ「STANDBY」を開発 学校で配布される一人一台端末・個人のスマホ等利用可能

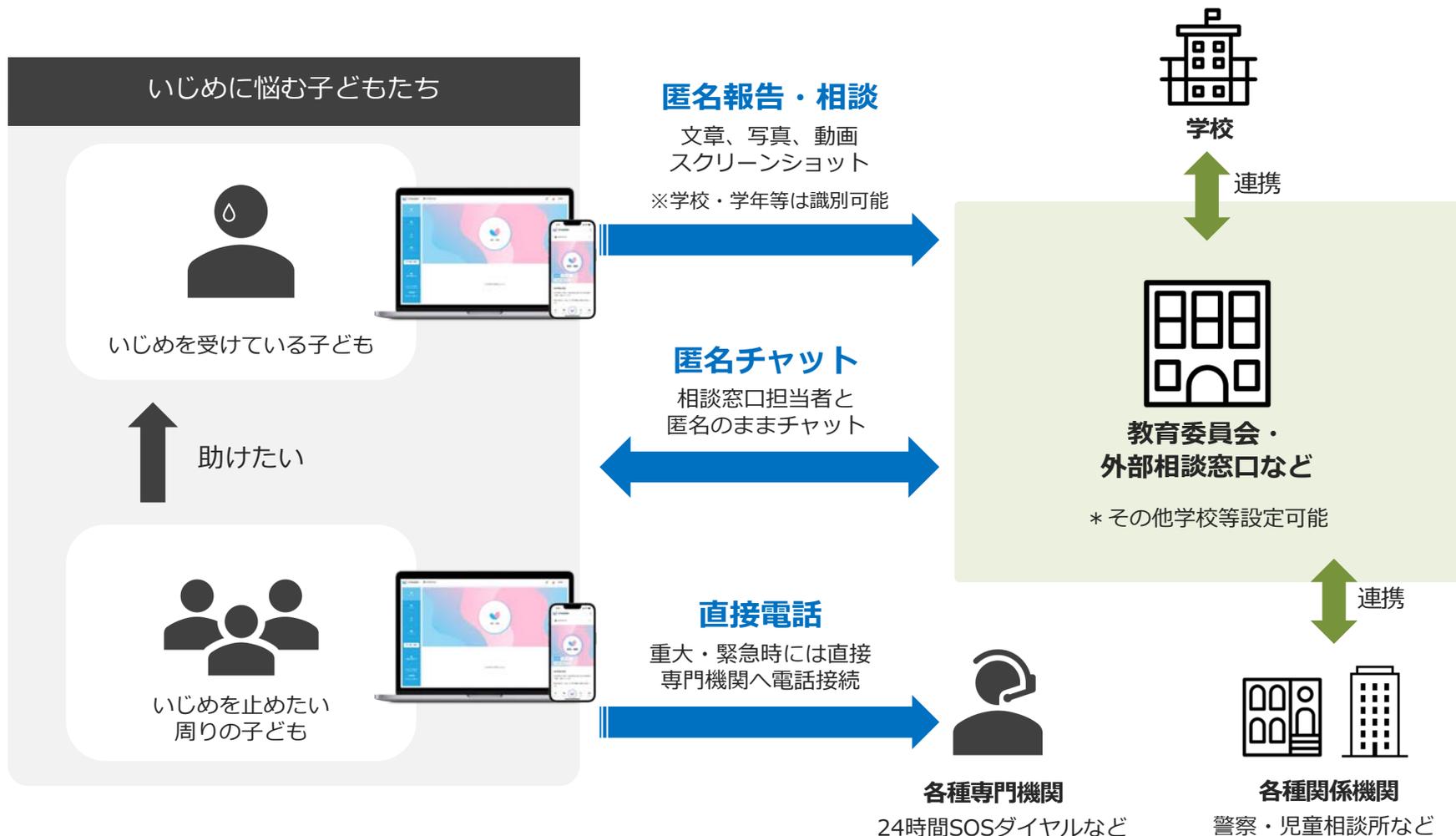
## STANDBY





すべての子どもに相談窓口を届ける

# 報告・相談の一般的な流れ





# 本質的な解決を目指し、いじめ防止をねらいとした授業を自ら開発した

変えられる!? クラスの空気

## 脱いじめ傍観者教育

ドラマストーリー

岡本元は内気な性格で、積極的に話しかけたり、SNSのグループトークに書き込んだりするのには苦手です。いつもクラスのグループトークを盛り上げているのは、教室でもムードメーカーの松尾。しかしある日、彼の行動をきっかけに、クラスの雰囲気が変わり始めます。

「今回のテストは自信がある」  
テストが返却されると、周囲の  
で、自分のほうが高かったと自  
まいます。

### モデル指導案

ねらい

- いじめ問題の解決を目指すためには、被害者、加害者だけでなく傍観者の役割も重要な役割である。傍観者の役割として、自分自身の行動を振り返り、いじめ防止のために行動することを目指す。
- グループトークに書き込んだり、SNSのグループトークに書き込んだり、教室でもムードメーカーの松尾。しかしある日、彼の行動をきっかけに、クラスの雰囲気が変わり始めます。
- 松尾の行動をきっかけに、周囲の雰囲気も変わっていくことを目指す。

学習活動	ねらい	評価方法
1. いじめ問題の解決について考える	いじめ問題の解決には、被害者、加害者だけでなく傍観者の役割も重要な役割である。傍観者の役割として、自分自身の行動を振り返り、いじめ防止のために行動することを目指す。	授業中の発言、グループワークの発表、振り返りシート
2. グループトークに書き込んだり、SNSのグループトークに書き込んだり、教室でもムードメーカーの松尾。しかしある日、彼の行動をきっかけに、クラスの雰囲気が変わり始めます。	松尾の行動をきっかけに、周囲の雰囲気も変わっていくことを目指す。	グループトークの書き込み、振り返りシート
3. 松尾の行動をきっかけに、周囲の雰囲気も変わっていくことを目指す。	松尾の行動をきっかけに、周囲の雰囲気も変わっていくことを目指す。	振り返りシート

展開① 松尾に対する悪口を止めるようアルファトークに書き込む

展開② アルファトークに何も書き込まない



# 口コミ、紹介で広がり、1,000校以上に導入

2017  
年度

2023  
年度



学校数

36  
校

1196  
校



対象児童生徒数

17,494  
人

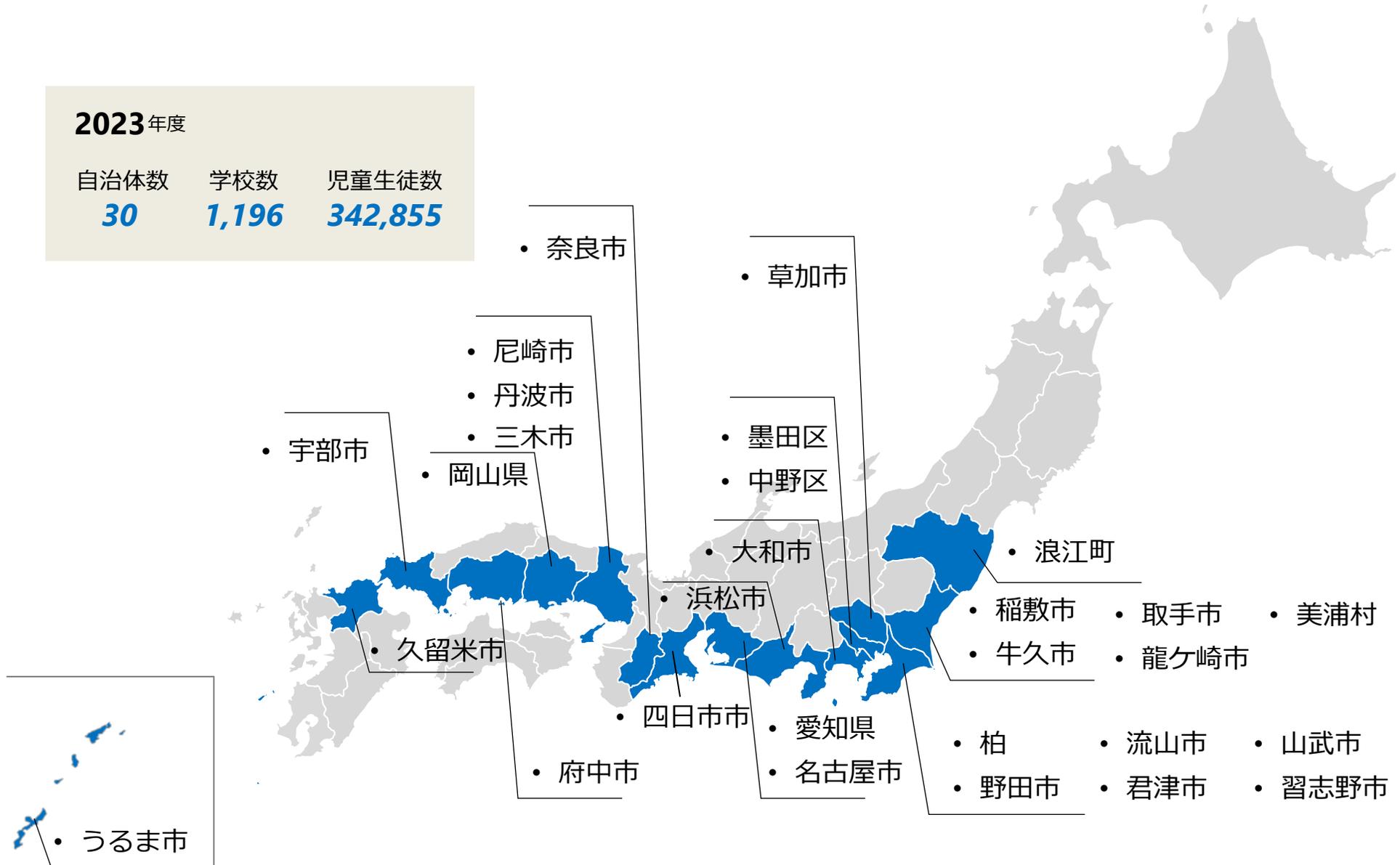
342,855  
人



# 導入自治体一覧

2023年度

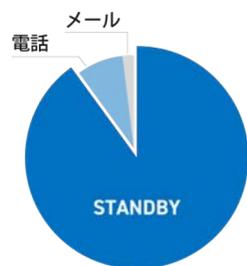
自治体数	学校数	児童生徒数
30	1,196	342,855





# STANDBYの実効性

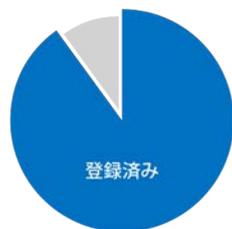
相談しやすい  
窓口



数年で急増

約 **9** 倍

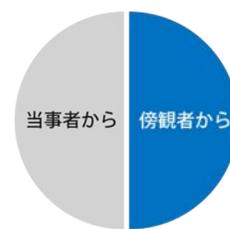
いじめの  
抑止



登録率

**90%**

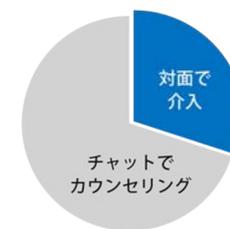
傍観者の行動を  
促進



傍観者相談率

**50%**

対面介入にも  
対応



対面で介入した率

**3**人に**1**人



## 事例：

# STANDBYの相談機能を理由に導入頂き、その後重大事態の解決にまで繋がった

### 導入の理由

いじめ被害を相談できない子がいることに課題感を持っていた同市は、相談窓口を拡大しカウンセリングでの問題察知を目的に導入

### 導入後の効果



#### 未然防止



#### 早期発見



#### 対応

- いじめの抑止力として、生徒の意識が向上した実感**
  - “いじめ傍観者授業によって生徒・教員共にいじめへの意識が向上し、問題を察知報告する姿勢が付いている”
  - “教員が問題を見過ごさないための抑止力にもなっている”
- いじめ相談の窓口として、従来相談窓口の9倍の相談件数**
  - 電話・メール相談の際は15件だった相談が、133件にまで増加
  - “相談できない子の人数が減った実感がある”
- 傍観者相談機能として、第三者からのいじめ報告が増加**
  - 全中学1年生向けに、脱いじめ傍観者授業を実施。その効果として、傍観者相談率48%を記録
  - “今までなかった傍観者からの相談が年々増えており、声をあげられない子を救っている実感がある”
- 介入機能として、重大事態の問題解決に繋がった**
  - 導入して数か月経った頃、突然生徒から死にたいとのチャット
  - 数時間やりとりをして危機感を感じた職員が、**生徒を特定し詳細聞き取り**。当時の担任との折り合いの悪さから**元担任に連絡を取り**、生徒の状況を改善するための対応をしてもらう
  - 教育委員会と長期に渡る対応の結果、**生徒は高校に進学**



# 今後の展望



# データを活用したSOSを出せない子どもの支援 アセスメント、ストレスチェックを活かしたメンタルケア



児童生徒

こころとからだのぐあいを毎日入力。  
いじめアンケート/ストレスチェックに回答。

いじめ被害

あなたは今月になって誰から

いまのからだのぐあいは？

よい すこしよい すこしわるい わるい

仲間はずれや無視をされた **必須**

1: まったくない 2: 1度だけある 3: 月に1度くらいある 4: 週に1度くらいある 5: 週に何度もある



教職員

統計解析・自動分析により、  
児童生徒の変化や不調に気づく。

<ダッシュボードへ

### 3年1組のいじめアラート

3年 1組 変更する

● 組織的対応をしてください ● 早急に組織で介入してください ● 常設委員会に相談してください ● いじめを見た

	2022
	3/6
1番 シャボテン 太...	●
2番 シャボテン 太...	●
3番 シャボテン 太...	-
4番 シャボテン 太...	-
5番 シャボテン 太...	-
6番 シャボテン 太...	-



# いじめの未然防止から問題解決まですべて取り組む

**未然防止**

**早期発見・早期対応**

## いじめ防止授業



専任講師が  
現地もしくはオンラインで  
授業を実施

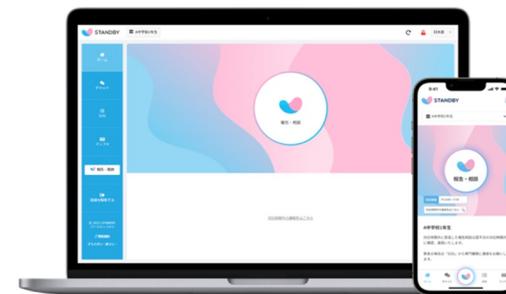
**年間300回以上実施**

## シャボテンログ



学校で配布される  
一人一台端末を活用する  
健康観察やアンケート自動分析を  
通じて、子どもの予兆を検知する

## STANDBY



個人の端末及び学校で配布される  
一人一台端末を活用し、  
子どもがSOSを出せる環境をつくる



**“手を差し伸べられた経験”を“手を差し伸べる経験”へ**

**自分にも他人にも  
手を差し伸べ合える社会をつくる**

